

# 平成30年3月期第2四半期決算 ～今後の経営展望について～

平成29年11月10日

代表取締役社長

根岸 孝成

**Yakult**

# 平成30年3月期 第2四半期連結業績(累計)

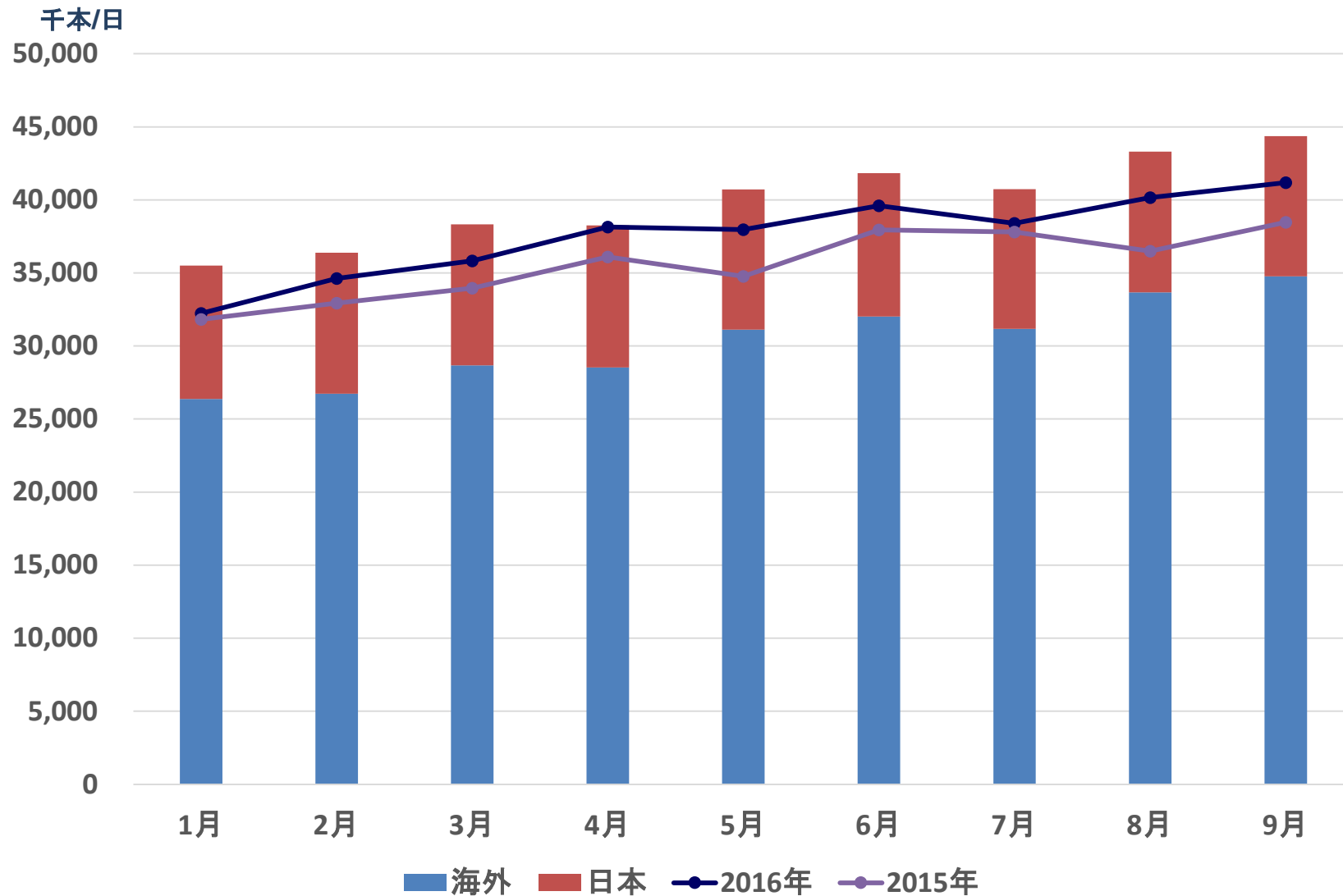
**Yakult**  
(図1)

(単位:億円)

	実績 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月12日発表)	当初業績予想比	前年実績	前年実績比
売上高	<b>1,977</b> <b>(▲11)</b>	1,990	99.4%	1,889	104.6%
営業利益	<b>228</b> <b>(▲5)</b>	215	106.1%	187	121.7%
経常利益	<b>268</b> <b>(▲4)</b>	255	105.3%	237	113.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	<b>178</b> <b>(▲3)</b>	155	115.3%	149	119.5%

為替影響額は対前年実績

# 全世界(日本+海外)の1日当り乳製品販売本数の推移



# 平成30年3月期 通期業績予想(連結)



(単位:億円)

	修正業績予想 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月12日発表)	当初業績予想比	前年実績	前年実績比
売上高	<b>4,025</b> (+10)	3,980	101.1%	3,783	106.4%
営業利益	<b>415</b> (+3)	400	103.8%	372	111.3%
経常利益	<b>510</b> (+2)	500	102.0%	493	103.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>315</b> (+1)	305	103.3%	301	104.5%

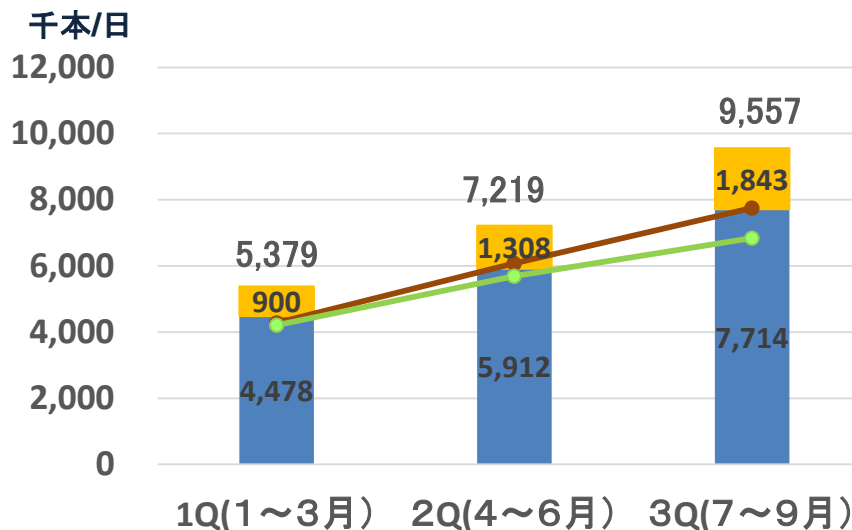
為替影響額は対当初業績予想

# 国際事業の取り組み(中国1)

**Yakult**

(図 4)

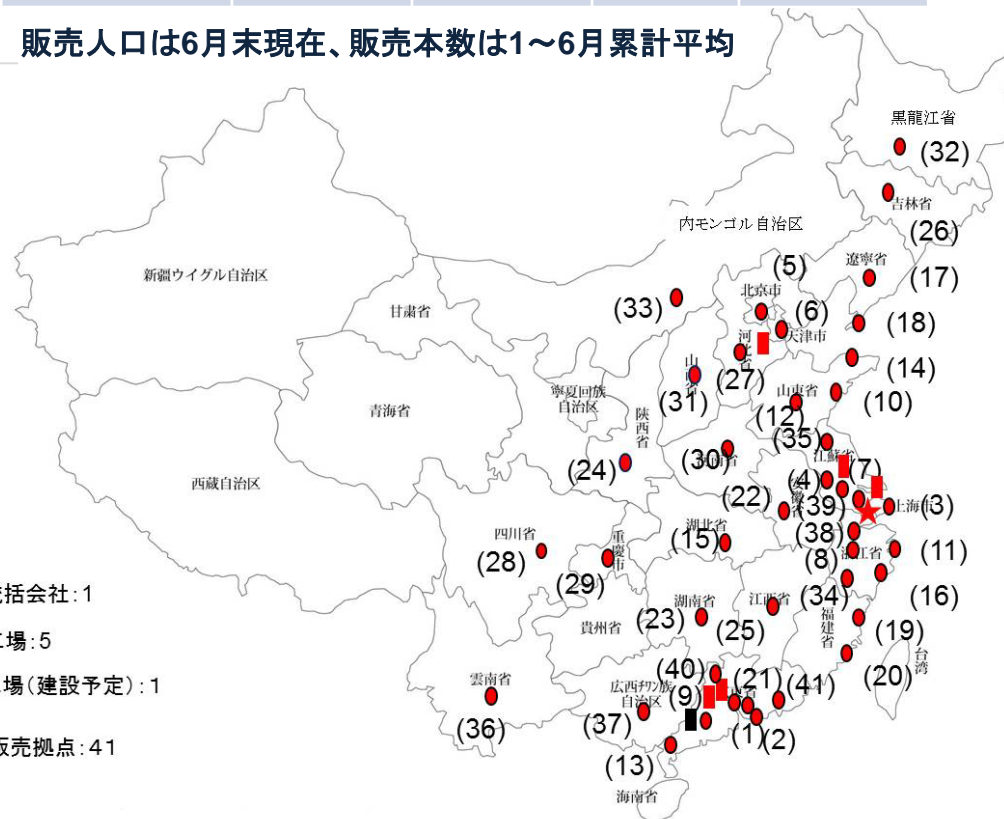
1日当り乳製品販売本数



	販売人口 (千人)	販売本数 (千本)	前年比 (%)	人口比 (%)
広州	88,290	2,426	118.7	2.75
上海	24,000	578	111.1	2.41
北京	30,280	386	118.1	1.27
その他中国	560,400	2,914	127.4	0.52
中国計	702,970	6,304	121.8	0.90

販売人口は6月末現在、販売本数は1~6月累計平均

■ ヤクルト  
■ ヤクルトライト  
— 2016年  
— 2015年



- ★ 統括会社: 1
- 工場: 5
- 工場(建設予定): 1
- 販売拠点: 41

# 国際事業の取り組み(中国2)



(図5)

## 佛山工場完成予想図

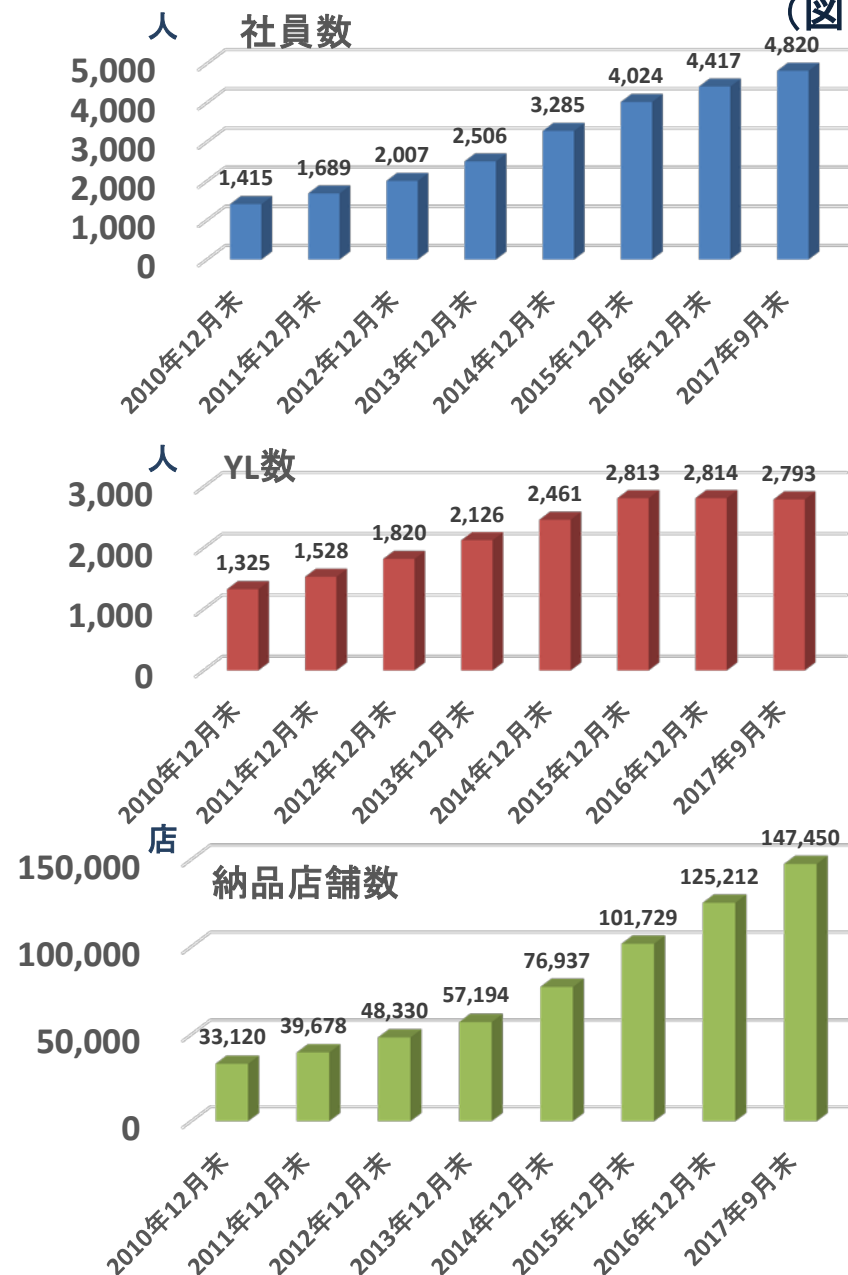
2019年3月 日産160万本で生産稼働(予定)



## 中国の生産体制

工場名	生産本数
広州第1工場	160万本
広州第2工場	200万本
上海工場	170万本
天津工場	350万本
無錫工場	220万本
合計	1,100万本

2017年9月末

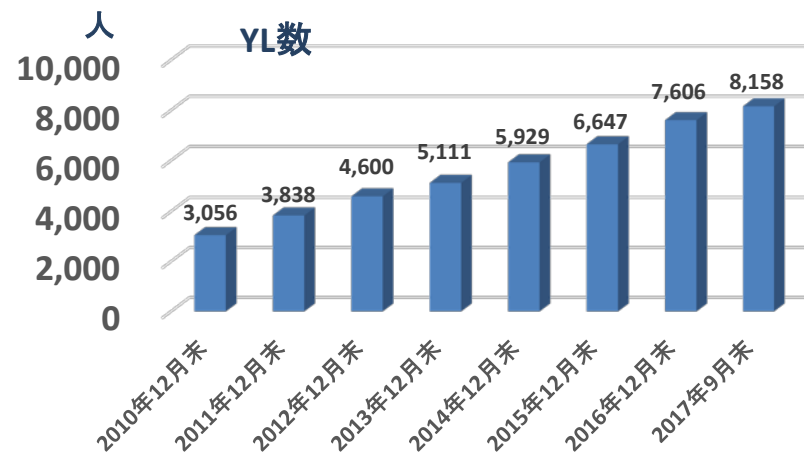
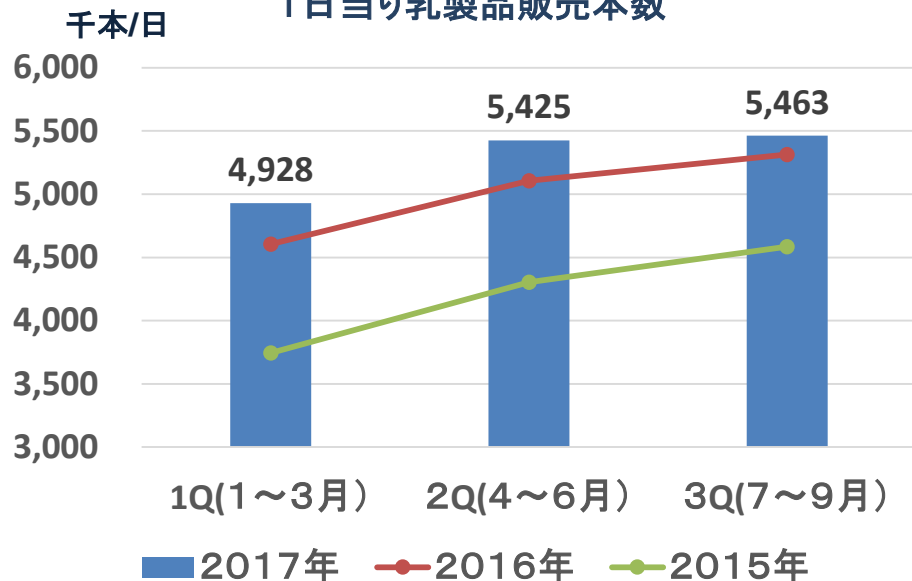


# 国際事業の取り組み(インドネシア)

**Yakult**

(図 6)

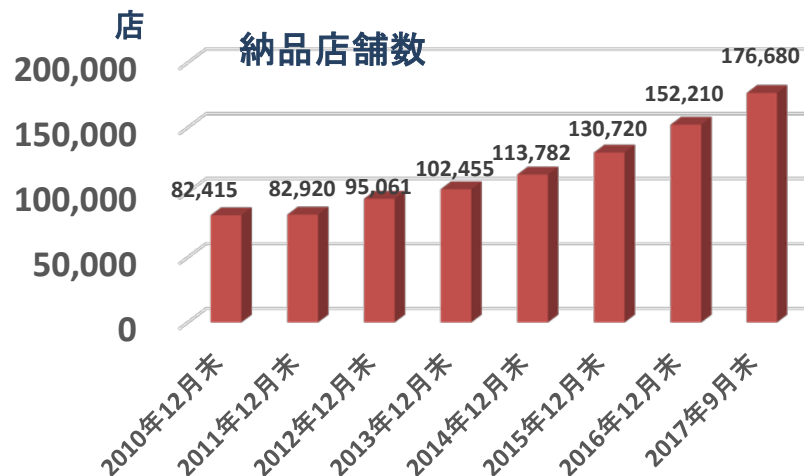
1日当り乳製品販売本数



昼礼で情報の共有化



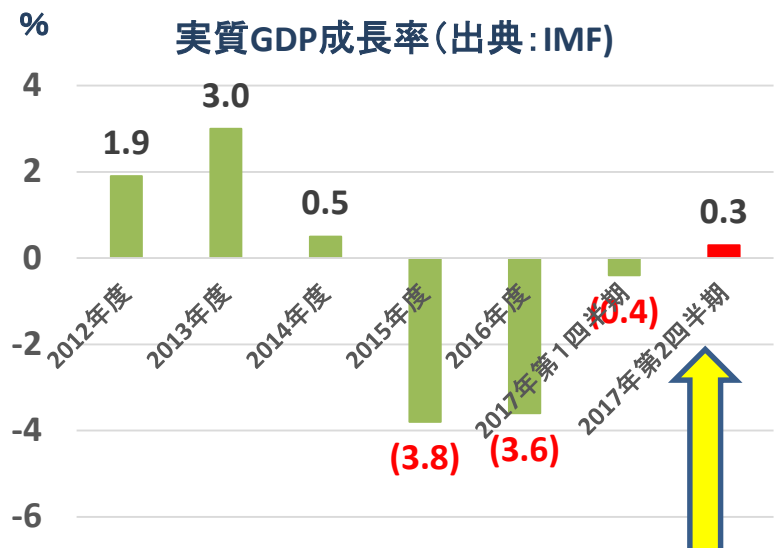
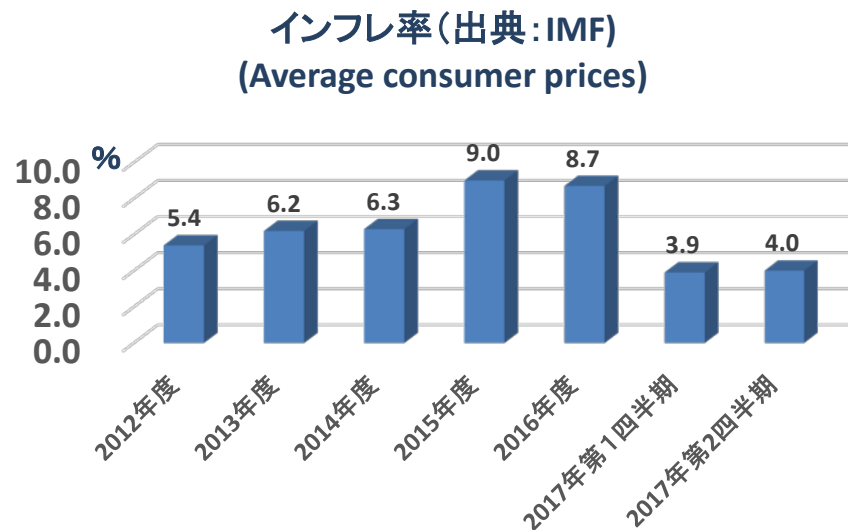
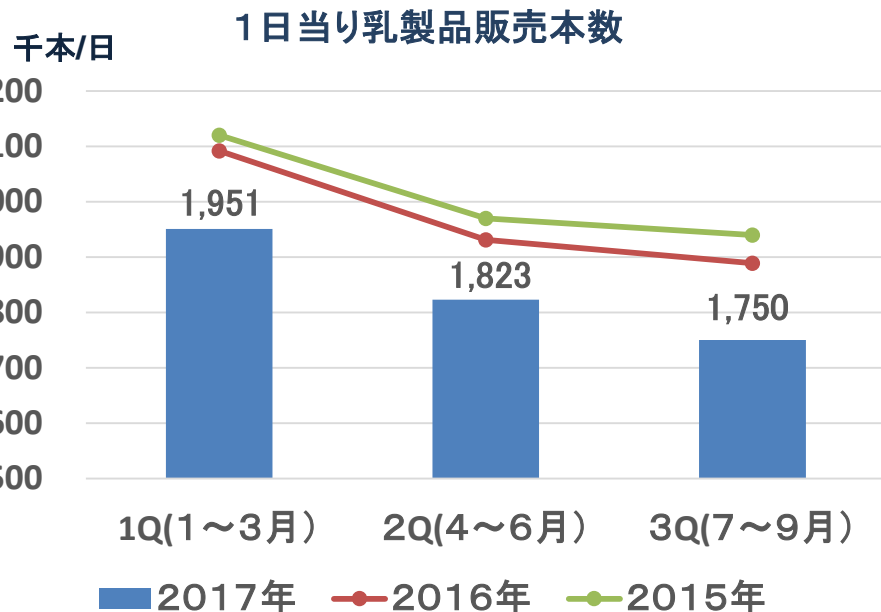
フォローアップセミナーで知識向上を図る



# 国際事業の取り組み(ブラジル)

**Yakult**

(図7)



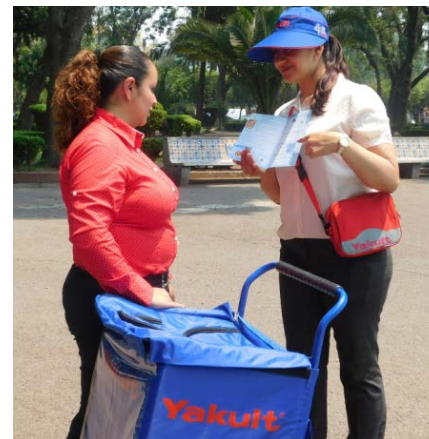
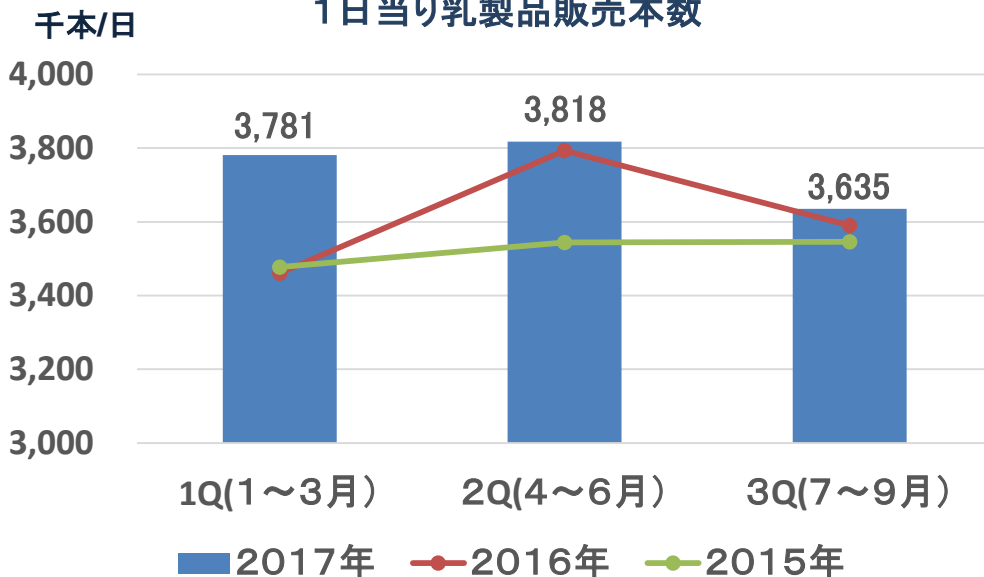
「ヤクルト400ライト」、「ヤクルト400」、「ヤクルト」  
が持つそれぞれの価値をきちんと伝える活動

マイナス成長  
からの脱皮



# 国際事業の取り組み(メキシコ)

1日当り乳製品販売本数



## ヤクルトブランドの価値向上

**Yakult**



a favor de  
**unicef**



写真: メキシコユニセフホームページ

Mejorar hábitos de salud y nutrición de 140 mil familias en México, meta de la alianza entre Yakult y UNICEF

(出典: メキシコユニセフのリリース見出し)

(メキシコの14万家族の健康と栄養習慣を改善することが、ヤクルトとユニセフのアライアンスの目的)

# 国際事業の取り組み(中東)

**Yakult**

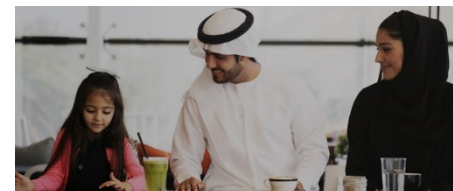
ヤクルトを販売している中東5カ国 (図9)



国名	首都	総人口
UAE	アブダビ	945万人
オマーン	マスカット	442万人
カタール	ドーハ	226万人
バーレーン	マナーマ	132万人
クウェート	クウェート	428万人
合計		2,173万人



5カ国共通パッケージ

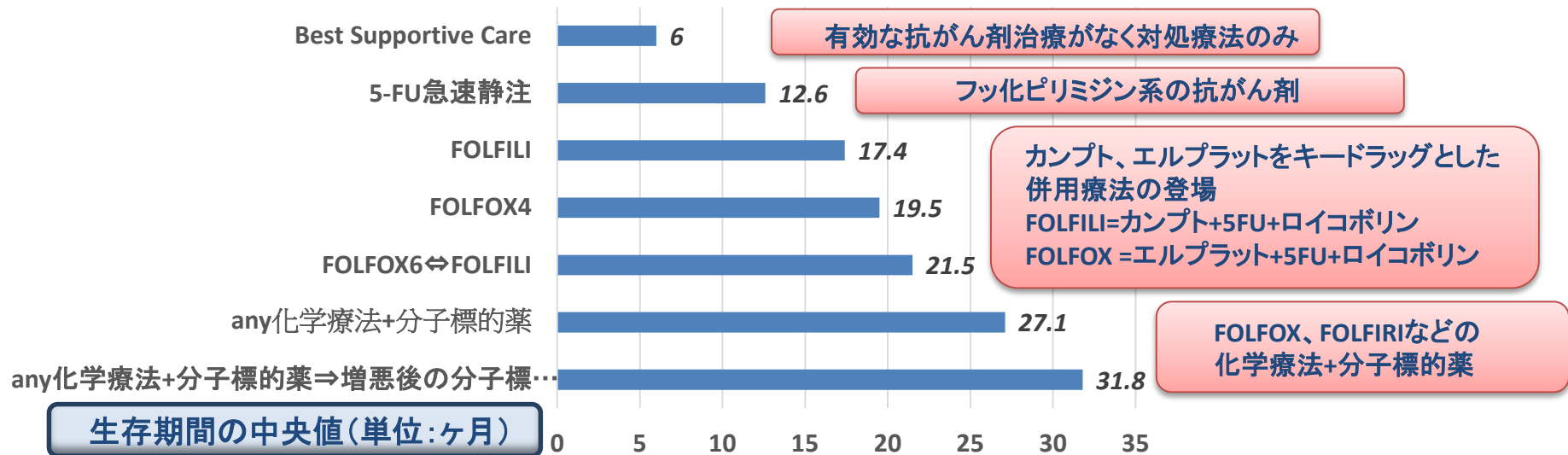


## がん領域に特化した医薬品事業

- ・がん患者の治療に貢献するためには、世界で認められた標準療法の浸透が必要であるとの使命感をMR全員が胸に秘めている。
- ・大腸がんの治療には、カンプト、エルプラットを用いた標準療法が必要であり、その普及のためにはエビデンスと適正使用情報の提供が必須であった。
- ・現在は、化学療法と分子標的薬との併用が標準療法とされているが、カンプト、エルプラットは化学療法のキードラッグとして現在も使用されている。

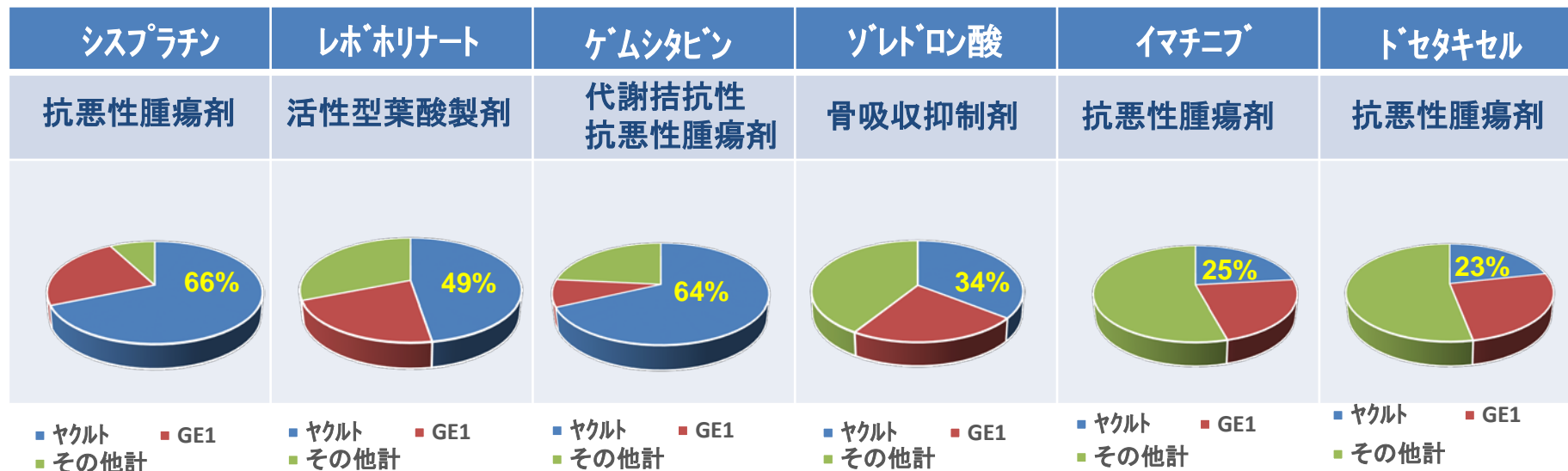


## 大腸がん化学療法の進歩



# 医薬品事業の取り組み

## 当社が取り扱う後発品シェア

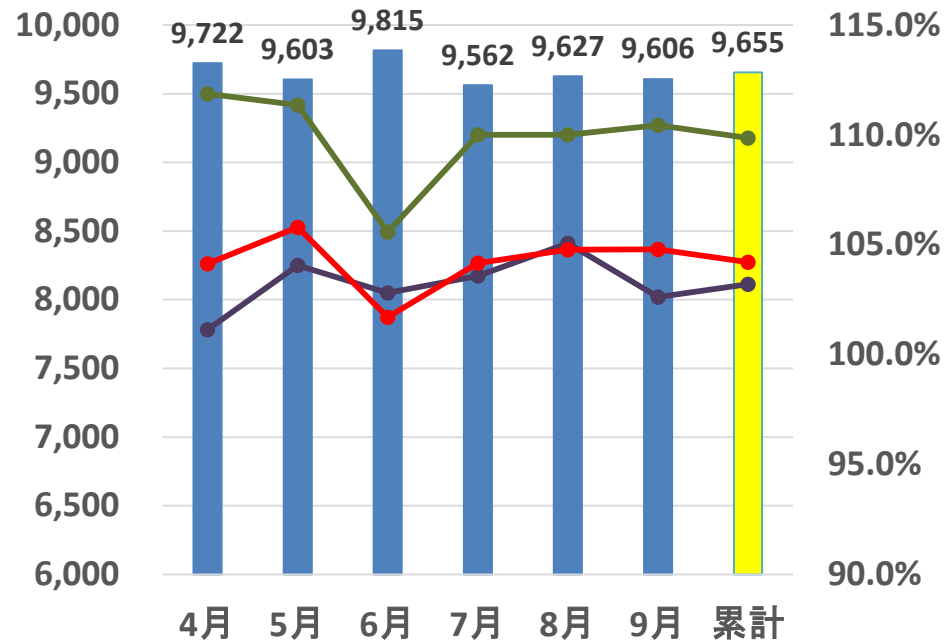


## 新たな取り組み

- ・サノフィ社が製造販売する「ザルトラップ®」は、切除不能な進行・再発の結腸・直腸がんに対する抗がん剤(分子標的薬)。ヤクルト本社とサノフィ社は共同して、プロモーションを行う。
- ・がん領域に特化した当社の医薬品事業の強みを活かし、成果をあげることで、今後も他社とのアライアンスを推し進める。

# 国内飲料食品事業の取り組み

千本/日 1日当り乳製品販売本数



■ 乳製品本数      ● Newヤクルト類前年比  
● ヤクルト400類前年比      ● 合計前年比



ヤクルト広告3本の矢

さあ、乳酸菌 シロタ株を腸内フローラへ。



腸内環境を改善する、ヤクルトのトクホ。



# 国内飲料食品事業の取り組み

## 健康教室



各地域の販売会社社員やヤクルトレディ(YL)が講師となり、センター(YLの販売拠点)や公共施設等を利用して、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等、幅広いテーマで「健康教室」を開催している。

## 出前授業



各地域の販売会社社員が小学校などに出向き、腸の大切さや「いいウンチ」を出すための生活習慣について、模型などを活用して、わかりやすく説明する「出前授業」を行っている。

## 店頭チャネル



各地域の販売会社のフィールドスタッフは、店舗を訪問し、商品紹介や販促提案を行い、プロモーションスタッフは商品や健康に関する確かな知識をもとに、店頭で試飲宣伝販売を行う。

## 宅配チャネル



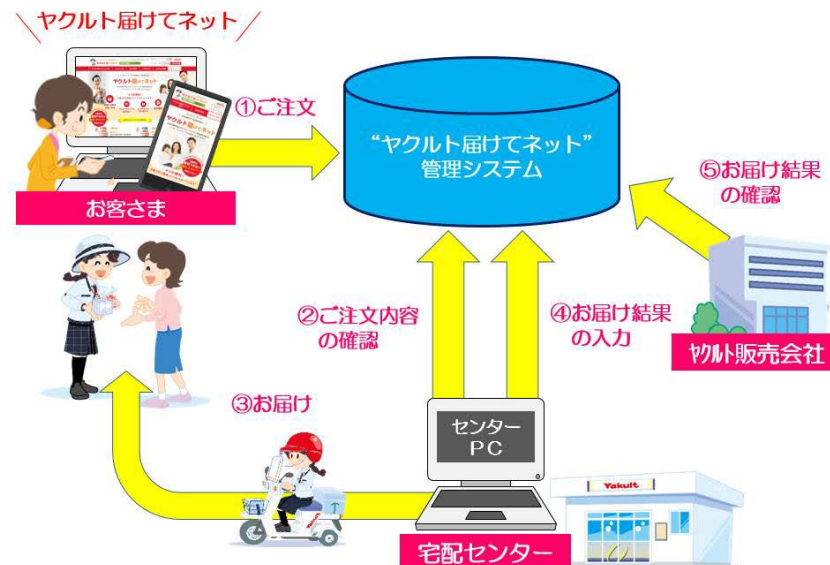
各地域のYLは、商品のお届けだけでなく、健康情報もお届けし、「地域の健康アドバイザー」として、お客さまに信頼される存在を目指している。

# 国内飲料食品事業の取り組み

## ヤクルト届けてネット

電子商取引(eコマース)市場の拡大を背景に、「インターネットを利用して商品の注文やお届け商品の変更がしたい」、「クレジットカードによる支払がしたい」というお客さまのニーズを受け、宅配を利用されるお客さまの利便性の向上と、ヤクルトの宅配を利用したことのないお客さまとの接点拡大を図る。

サービス開始:2017年10月2日～  
対象エリア:埼玉県、千葉県、東京都、  
神奈川県、群馬県南部の一部、  
茨城県南部の一部



## シンバイオティクス ヤクルト W

「シンバイオティクス ヤクルト W」は、生きて腸内に到達する乳酸菌 シロタ株と腸内のビフィズス菌を増やすガラクトオリゴ糖と一緒に摂ることができるパーソナルタイプの乳製品乳酸菌飲料。

販売開始:2017年10月24日から  
全国のセブンイレブン  
2017年11月27日から  
全国のCVSやSM等の店頭で



プロバイオ  
ティクス



プレバイオ  
ティクス



シンバイオ  
ティクス

# プロバイオティクスを世界に！ 科学するヤクルト

**Yakult**  
(図15)

## ネイチャーとの関わりについて

昨年、中央研究所の完成記念行事「オープニングカンファレンス」において、「Nature Café」を開催

## ネイチャーとの協同活動

世界的な総合科学雑誌「nature」を発行するネイチャーと協同して活動していくことは、国内外のブランドイメージの向上と、世界的な研究者との接点作りを行っていくうえで重要



## ネイチャーカフェの開催

2017年10月13日、ネイチャー本社ビル(ロンドン)において、2回目のNature Caféを開催

**Theme** : The role of microbiota in health and disease (健康と疾患における腸内細菌叢の役割)

**Presentations:** Professor Harry Flint (*University of Aberdeen, UK*)

Dr Nathalie Juge (*Quadram Institute Bioscience, UK*)

Professor Kiyoshi Takeda (*Osaka University, Japan*)

Dr Mary Ellen Sanders (*Dairy & Food Culture Technologies, US*)

Professor Paul O'Toole (*School of Microbiology and APC Microbiome Institute, University College Cork, Ireland*)



**SPRINGER NATURE** **Yakult**

This event is jointly held by Yakult and Springer Nature





当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。